

第5章 環境教育

第1節 環境教育および啓発事業の推進	116
1. 環境学習センターの取り組み	116
2. 環境保全課の取り組み	121

第1節 環境教育および啓発事業の推進

1. 環境学習センターの取り組み

四日市市環境学習センターは、平成8年8月1日、子どもから大人までを対象に、日常生活と環境の関わりについての関心と理解を深め、環境に配慮した行動がとれる市民の育成を目的に開館した。平成21年度より指定管理者制度を導入し、アクティオ(株)が運営を受託した。市民が自主的に、楽しく環境の学習ができる拠点施設となることを目指して、平成21年度は次のような事業を行った。

1. 普及啓発事業

(1) 自然観察会

身近な自然に対する関心を深め、自然に親しむことを目的に、市民を対象にして年10回実施した。運営は、四日市自然保護推進委員会にて行った。

(2) バスで行く自然体験教室

身近な自然に対する関心を深め、環境保全意識が高まることを目的に、市民を対象にして2回実施した。

実施日	場 所
6 / 6 (土)	ウォーキングと蛍の観察
10 / 24 (土)	生物多様性バスツアー「いきものみつけ」

(3) バスで行く環境教室

市内の環境を学ぶことを目的に、小・中学生とその保護者を対象として1回実施した。

実施日	場 所
7 / 31 (金)	四日市水の旅「てんぱく川探偵」

(4) 四日市の身近な自然調べ

小学生が身近な生き物に目を向けることにより、自然とのふれ合いを楽しむとともに、自然への関心を深めてもらうため、生き物を「探す・採る・調べる」などの自然体験ができる「四日市の身近な自然調べ」を4月から3月にかけて10回実施した。

(5) こどもエコゼミ・環境セミナー

小中学生を対象に四日市公害やゴミリサイクル等をテーマにして講義と実験・体験を組み合わせたセミナーを7回、市民を対象としたセミナーを6回実施した。

こどもエコゼミ

実施日	内 容
8 / 1 (土)	写真で学ぶ四日市公害
8 / 5 (水)	アピタお店探検隊
8 / 8 (土)	なぜなに地球温暖化!
8 / 14 (金)	電子工作「初めての電子工作」
8 / 19 (水)	植物スケッチ

8 / 2 2 (土)	ちぎり絵でリサイクル工作
1 2 / 1 2 (土)	電子工作「LEDでミニクリスマスツリーを作ろう」

環境セミナー

6 / 2 7 (土) 7 / 4 (土)	川の先生養成講座(全2回)
7 / 2 4 (金)	四日市公害「公害裁判判決の日」 講師：野田之一氏
1 1 / 3 (祝)	気象講座「ちょっとおかしい天気の話」 講師：気象予報士 大隅智子氏
1 2 / 1 9 (土)	ちぎり絵で干支作りと環境講座
2 / 2 0 (土)	資源循環講座「廃食油を使った新しいエネルギー・バイオディ ゼル」 講師：三重大学伊賀研究拠点客員教授 加藤進氏

(6) 夏休み自由研究相談室

小・中学生を対象に、「夏休み自由研究の仕方相談室」(7月25日(土))、「夏休み自由研究のまとめ方相談室」(8月22日(土))を、植物、昆虫、地学、天文、気象などの分野ごとに、四日市自然保護推進委員会委員等の協力を得て実施した。

(7) エコ工作体験教室

市民を対象に不用になったものに新たな役目を与え、物を大切にして省資源・省エネルギーの意識啓発につなげる実習を4回実施した。

開催日	内 容
6 / 2 0 (土)	キャンドル作り体験教室
7 / 1 8 (土)	竹風鈴作り体験教室
1 2 / 2 6 (土)	ミニ門松作り体験教室
1 / 2 0 (水)	布ぞうり作り体験教室

(8) パネル展

四日市公害をテーマに3回パネル展を開催した。また、伊勢湾台風50年事業として伊勢湾台風パネル展を開催した。

2. 人材育成事業

地域における市民の自主的な環境学習、環境保全活動のリーダーとして活躍できる人材の発掘と育成を目的として「環境リーダー養成講座」基礎編・応用編および三泗小中校教員を対象とした教員編を開催した。また、これまでの講座修了生を対象にスキルアップ研修会を開催した。運営は、ロハスネット(株)に委託した。

環境リーダー養成講座(基礎編)

実施日	内 容
7 / 1 1 (土)	四日市公害の歴史と環境の現状について(講義) 四日市の自然について(講義)

8 / 29 (土)	ごみゼロ社会を目指して(講義) 風呂敷を有効に使う(実技)
9 / 12 (土)	四日市の自然観察(体験)

環境リーダー養成講座(応用編)

実施日	内 容
10 / 17 (土)	ライフスタイルの転換(講義) 身近な省資源省エネルギーについて(講義)
11 / 7 (土)	持続可能な社会の構築 - 水の循環システムについて - (講義) インタープリテーションの利用(講義)
12 / 5 (土)	環境保全活動の仕方(講義) シュミレーション・ディベート(実技)
1 / 16 (土)	自然環境の保全について(講義) 環境活動プログラムの作成(実技)

環境リーダー養成講座(教員編)

実施日	内 容
8 / 6 (木)	環境教育の授業提案 風呂敷による色々なものの包み方(講義)
8 / 7 (金)	自然体験教育体験とリサイクル視察(体験研修)

環境リーダー養成講座(スキルアップ編)

実施日	内 容
9 / 19 (土)	燃料電池のしくみ(講義) 理想の町づくり(体験)
10 / 10 (土)	リサイクルセンターと生ごみ循環システム(視察研修)
11 / 14 (土)	環境リーダーの役割(講義) プログラムの立て方(講義)

3. 研修事業

市内の学校や団体などの環境学習支援のため、出前授業や見学の受け入れを行った。

(1) 四日市公害学習支援事業

市内小学校をはじめ大学や企業など12団体の支援を行った。

(2) 出前講座 エコ工作体験教室など

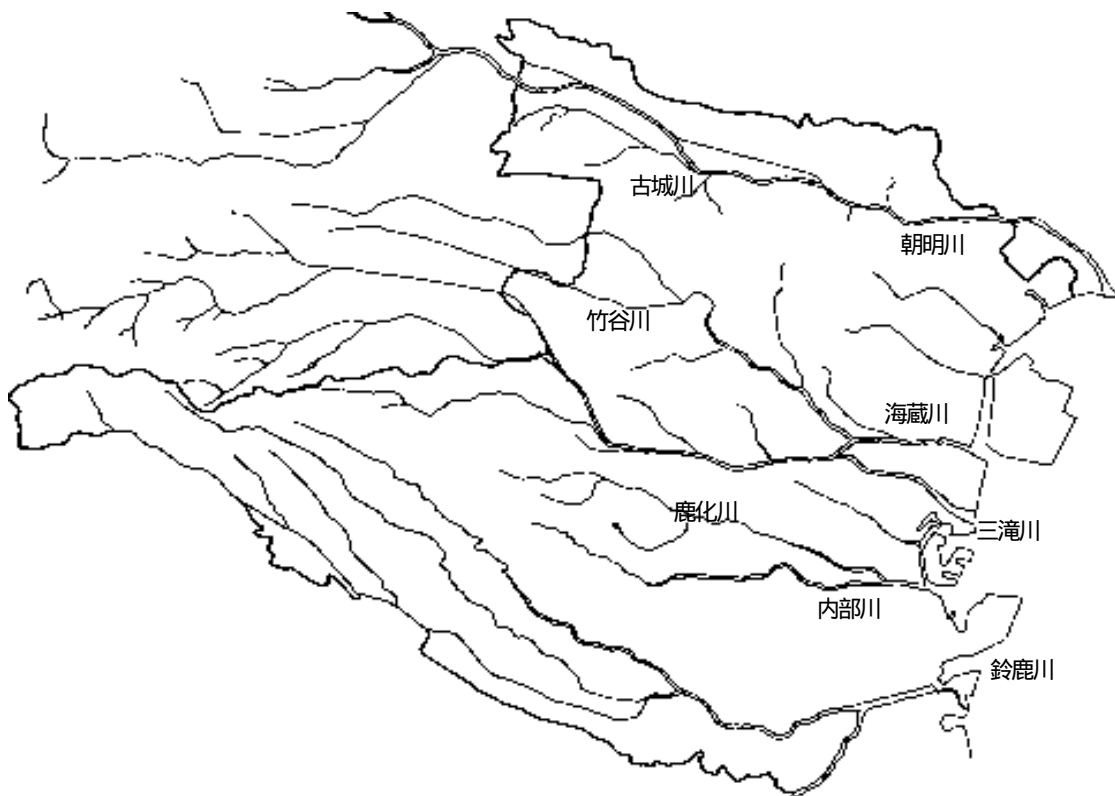
地区市民センターなどの依頼を受け、竹工作やごみ学習講座など7回の出前講座を行った。

(3) 出前講座 水生生物調査

水生生物を調べることによって河川の水質判定を行うとともに、自然環境保護活動の普及・啓発をはかるため、水生生物調査指導員の協力を得て、鈴鹿川、鹿化川、三滝川、朝明川において水生生物調査を実施した。

水生生物調査結果

・調査地点



調 査 結 果							
調 査 地 点 番 号							
河 川 名		朝明川	朝明川	朝明川	三滝川	鹿化川	鈴鹿川
調 査 地 点 名		里橋上流	里橋付近	山分橋付近	慈善橋付近	新川島橋付近	本郷橋付近
調 査 年 月 日		5月26日	5月26日	5月26日	6月19日	7月26日	7月26日
時 間		10:00	10:00	10:00	9:00	9:00	15:00
天 候		晴	晴	晴	晴	くもり	くもり
水 温 ()		19.0	21.0	21.0	23.0	24.0	23.0
川 幅 (m)		26	18.5	26	30	3	15
採 取 場 所		全体	上流から見て右岸	上流から見て左岸	上流から見て右岸	中心	上流から見て右岸
水 深 (cm)		30	30	30	30	30	30
流 速		普通	遅い	普通	遅い	遅い	普通
川 底 の 状 態		小石と砂	小石と砂	小石と砂	小石と砂	小石と砂	砂と泥
水 の に お い		感じる	感じる	感じない	感じない	感じる	感じない
水 の に ご り		少し濁っている	少し濁っている	少し濁っている	きれい	少し濁っている	きれい
指 標 の 生 物 出 現 状	きれいな水	1	アマカ				
		2	ウズムシ				
		3	カワゲラ				
		4	サワガニ				
		5	ナガレトビケラ				
		6	ヒラタカゲロウ				
		7	ブユ				
		8	ヘビトンボ				
		9	ヤマトビケラ				
	少しきたない水	10	イシマキガイ				
		11	オオシマトビケラ				
		12	カワニナ				
		13	ゲンジボタル				
		14	コオニヤンマ				
		15	コガタシマトビケラ				
		16	スジエビ				
		17	ヒラタドロムシ				
		18	ヤマトシジミ				
	きたない水	19	イソコツブムシ				
		20	タイコウチ				
		21	タニシ				
		22	ニホンドロソコエビ				
		23	ヒル				
		24	ミズカマキリ				
		25	ミズムシ				
	大変きたない水	26	アメリカザリガニ				
		27	エラミミズ				
		28	サカマキガイ				
		29	セスジユスリカ				
		30	チョウバエ				
水 質 階 級 の 判 定							

3. 交流・活動支援事業

(1) こどもエコクラブ支援事業

市内の64クラブの15,689人が登録した。また、交流会も兼ねて10月18日(日)に環境保全活動団体及び企業の協力を得て「エコまつり」を開催し、400人が参加した。

4. 情報提供事業

(1) 環境情報誌『エコピース2010』の発行

特集「四日市公害」および市内の環境に関する情報を編集し、市民に向けて環境情報誌を発行した。

(2) 『えこっぴニュース』の発行

月1回発行し、センター事業の紹介、募集や環境学習センターのPRに努めた。

5. その他

エキサイトバザールなど市内におけるイベントに出展し、竹工作やリース作りなどを行い、施設のPRに努めた。また、市内の企業の協賛を得て、エコ・クッキングなどの企業等連携事業を6回実施した。

2. 環境保全課の取り組み

1. 環境情報の提供

(1) 「四日市のかんきょう」の作成

四日市の公害の歴史や現状について正しく知り、考えるための手引書として、平成13年度までA4版16ページの小冊子を作成していたが、現在はホームページに掲載している。

(2) 「広報よっかいち」への特集ページの掲載

「広報よっかいち」6月上旬号に「快適な環境づくりで暮らしやすいまちを」と題して、市民・企業・行政それぞれの環境を守るための取り組みを紹介し、暮らしやすいまちづくりに向けて市民ひとりひとりの取り組みを呼びかけた。また、家庭用及び中小事業者等向け太陽光発電システム設置費補助についての募集等の周知を行なった。

2. 地球温暖化対策の推進

(1) 四日市市環境フォーラムの取組み

市民、事業者、行政が参加する「四日市市環境フォーラム」を設立し、環境に対する総合的な取組をおこなった。10月に四日市市文化会館において、シンポジウムと展示&交流会を実施した。

日時：平成 21 年 10 月 12 日（月・祝）

会場：四日市市文化会館、出展者数 40 団体、参加者約 400 人

シンポジウム基調講演：國保元愷会長

事例発表者：ネイチャークラブ内部、四日市大学エネルギー環境教育研究会、海蔵川探検隊うみくら

（2）姉妹都市による中学生環境サミット

夏休み期間中（8 / 3 ~ 11）に市内中学生と姉妹都市であるロングビーチ市の中学生を対象に、環境問題のグローバルな考え方や取り組みについての理解や交流を深めてもらうことを目的に、国際環境技術移転研究センター等において、環境学習を実施した。

(3) 市内の事業所や三重県と協力して、小学生向けの地球温暖化関連教材「こどもよっかいちCO₂ダイエット作戦」を導入し、市内の小学校3校で実施した。

(4) 四日市地域環境対策協議会向けに四日市公害の記録ビデオである「証言・四日市公害の記録」の貸出しについて周知した。また、広く貸出しできるよう、DVD化を行なった。

(5) J A F 三重支部の協力により、市民を対象としたエコドライブ講習会を年3回実施した。

実施日	実施場所
6 / 20 (土)	四日市自動車学校
9 / 27 (日)	四日市南自動車学校
10 / 17 (土)	四日市自動車学校

(6) 商工会議所、霞が浦地区企業や四日市港管理組合との協働により、公共交通機関、自転車、徒歩や相乗りなど、環境負荷の低い方法での通勤を年1回実施した。また、ライトダウンキャンペーンや環境配慮行動のシンポジウムにも協力を行った。